



予条件・設計条件

1. 桂キャンパスの場所的特性  
～吉田との位置関係、西芳寺の裏山
2. テクノ・サイエンス・ヒル構想  
～技術・地域・自然の融合・交流
3. 地域に開かれたキャンパスの実現  
～周辺住宅地への配慮と境界のしつらえ
4. 桂キャンパスの空間的骨組み  
～丘陵地、プロムナード、広場、エスplan

植栽計画コンセプト

- 基本方針：  
自然との対話により創造性を刺激する緑の丘
- 具体的手法：
1. 吉田キャンパスの伝統を継承し、シンボルツリーはクスノキとする。
  2. 各クラスターの玄関口に特徴的な樹形を持つランドマークツリーを植える。
  3. 各クラスターの正面アプローチには落葉樹の並木を植え、四季を感じさせる。
  4. 市道沿いの敷地境界には深い緑を演出する常緑広葉樹を植え、足下に草類を植える。
  5. 京都市の木を採り入れる。
  6. 竹林のイメージを連続させる。

植栽樹木リスト

記号	名称	樹高	数量	単位	備考
	植栽維持費		4,435	円	
	環境緑化工				
	(1) 封草層				
KA1	カイツカイブ植樹工	H=1.5m W=0.3m	268	本	
	(2) 常緑高木				
AK	アカシ植樹工	H=2.5m W=0.7m	59	本	
KS-I	クスノキ(大)植樹工	H=7.0m C=0.0m W=3.0m	4	本	
KS-M	クスノキ(中)植樹工	H=4.5m C=0.5m W=1.8m	3	本	
KGM	クロガネモチ植樹工	H=2.5m W=0.7m	30	本	
SO	ソヨゴ植樹工	H=2.0m W=0.6m	27	本	
	(3) 落葉高木				
AN	アケビ植樹工	H=4.0m C=0.21m W=1.5m	6	本	
KY	ケヤキ植樹工	H=4.0m C=0.25m W=2.0m	24	本	
SIY	シダレヤナギ植樹工	H=3.5m C=0.21m	2	本	
IMJ	イロハモミジ植樹工	H=1.8m	3	本	
EGO	エゴノキ植樹工	H=1.8m	2	本	
KOB	コバシ植樹工	H=1.8m	3	本	
STZ	サトザクラ植樹工	H=4.0m C=0.21m W=1.5m	44	本	
SSB	サルスベリ植樹工	H=2.5m C=0.12m W=1.0m	1	本	
SDZ	シダレザクラ植樹工	H=3.5m C=0.21m	4	本	
NNK	ナナカマド植樹工	H=2.0m W=0.5m	2	本	
MJB	タイワンツツジ植樹工	H=1.5m	4	本	
YMB	ヤマボウシ植樹工	H=1.8m	2	本	
RIR	ライラック植樹工	H=1.2m W=0.5m	5	本	
ITY	イチキュウ植樹工	H=4.0m C=0.21m W=1.5m	1	本	
	(4) 低木・タケ類				
KTK	クロチク植樹工	H=2.0m 2本立	200	本	
	キリシマツツジ植樹工	H=0.4m W=0.3m	142	本	
	クルメツツジ植樹工	H=0.4m W=0.3m	299	本	
	サツキツツジ植樹工	H=0.3m W=0.4m	170	本	
	ヒメドリツツジ植樹工	H=0.4m W=0.4m	161	本	
	ボックスウッド植樹工	H=0.6m W=0.3m	820	本	
	(5) 地被植物				
	クマザサ植樹工	12.0cm <sup>2</sup> ×3株立	94,159	株	
	サマリュウ植樹工	7.5cm <sup>2</sup> ×15株立	49,373	株	
	リュウノヒゲ植樹工	9.0cm <sup>2</sup> ×15株立	42,136	株	
	コウライシバ植樹工		841.1	㎡	自植体入り
	ナツツタ植樹工	9.0cm <sup>2</sup> ×1株元径2cm	92	株	
	ヘデラ・ヘリックス植樹工	1=0.3m 9.0cm <sup>2</sup> ×3株立	20,444	株	



桂キャンパス イメージ図



航空写真 平成14年12月現在

工事名称	縮尺: 1/1,500
京都大学建設部 基幹・環境整備(植栽)工事	平成15.2.23 行金せり同席
図面名称	植栽計画図
作成者	京都大学施設部